

# 200/300 シリーズによって管理されるスイッチの Cisco Discovery Protocol ( CDP ) Properties

## 目標

Cisco Discovery Protocol ( CDP ) は Cisco デバイスがネットワーク層接続に関係なく通信できるようにする Link-Layer Cisco 独自のプロトコルです。プロトコル アドレスおよびデバイス 機能を伝えることを主に使用します。CDP はポートのプロパティについての情報が、接続送信します含まれている、および/またはデバイス、型長さ 値 ( TLVs ) を示す帯を。

この資料の目標は 200/300 シリーズによって管理されるスイッチの *Properties* ページ CDP のオプションを説明することです。

## 適当なデバイス

- SF/SG 300 シリーズによって管理されるスイッチ

## CDP Properties

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは > ディスカバリ-CDP > Properties 『管理』を選択し。 *Properties* ページは開きます:

## Properties

CDP Status:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
CDP Frames Handling:	<input checked="" type="radio"/> Bridging <input type="radio"/> Filtering <input type="radio"/> Flooding
CDP Voice VLAN Advertisement:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
CDP Mandatory TLVs Validation:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
CDP Version:	<input type="radio"/> Version 1 <input checked="" type="radio"/> Version 2
✱ CDP Hold Time:	<input type="radio"/> Use Default <input checked="" type="radio"/> User Defined <input type="text" value="100"/> sec.
✱ CDP Transmission Rate:	<input type="radio"/> Use Default <input checked="" type="radio"/> User Defined <input type="text" value="50"/> sec.
Device ID Format:	<input checked="" type="radio"/> MAC Address <input type="radio"/> Serial Number
Source Interface:	<input type="radio"/> Use Default <input checked="" type="radio"/> User Defined
Interface:	Port <input type="text" value="GE4"/>
Syslog Voice VLAN Mismatch:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
Syslog Native VLAN Mismatch:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
Syslog Duplex Mismatch:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable

スイッチの CDP を有効にする *CDP Status* フィールドのステップ 2. ( オプションの ) チェック **イネーブル**。

ステップ 3 イネーブルが *CDP Status* フィールドチェックインされない場合、CDP パケットがどのように処理されるか判別するためにフィールドを処理する *CDP フレーム* の Radio ボタンをクリックして下さい。 CDP を有効にしないことを選択する場合ステップ 15 にスキップして下さい。

- ブリッジング—スイッチは着信ポートと同じ VLAN のポートに CDP パケットを転送します。
- フィルタリング—スイッチはすべての着信 CDP パケットを削除します。
- あふれること—スイッチは VLAN に関係なくすべてのポートに着信 CDP パケットを転送します。

有効になる CDP の voice VLAN のメンバーであり、すべてのポートの CDP の voice VLAN をアドバタイズする *CDP Voice VLAN アドバタイズメント* フィールドのステップ 4. ( オプションの ) チェック **イネーブル**は。

必須 TLVs すべてが含まれていない CDP パケットを廃棄するようにスイッチがする CDP 必須 TLVs 検証 フィールドのステップ 5. ( オプションの ) チェック イネーブル。

ステップ 6. CDP バージョン フィールドで使用するために望む CDP バージョンと対応する Radio ボタンをクリックして下さい。

- バージョン 1 — 接続装置が CDP バージョン 2. をサポートしない場合のために使用される下位互換性。
- バージョン 2 — CDP の最新バージョンはより多くのインテリジェントなデバイストラッキング機能が含まれ。

ステップ 7. CDP 一時待機時間 フィールドの CDP 一時待機時間を定義するのに使用するよう望む方式と対応する Radio ボタンをクリックして下さい。 CDP 一時待機時間はそれらが廃棄される前にその時間数 ( 秒で ) CDP パケット保たれます。

- 使用 default — 既定の時刻は 180 秒です。
- ユーザが定義する — 10 と 255 間の秒に時間に入って下さい。

ステップ 8. CDP 伝送速度 フィールドの CDP 伝送速度を定義するのに使用するよう望む方式と対応する Radio ボタンをクリックして下さい。 CDP 伝送速度は比率 CDP パケット送信されます ( 秒で ) 。

- 使用 default — 既定の時刻は 60 秒です。
- ユーザが定義する — 5 と 254 間の秒に時間に入って下さい。

ステップ 9. デバイス ID 形式 フィールドのデバイス ID の形式を定義するために appropriate オプション ボタンをクリックして下さい。 スイッチが CDP を使用するデバイスを検出するとき、スイッチは MAC アドレスかシリアル番号によってデバイスを識別します。

ステップ 10. ソースインターフェイス フィールドのソースインターフェイスを定義するのに使用される方式の隣で Radio ボタンをクリックして下さい。 ソースインターフェイスは帯の TLV の IP アドレスです。

- 使用は default — 発信インターフェイスの IP アドレスを使用します。
- ユーザが定義する — 選択されたインターフェイスの IP アドレスを使用します。

ステップ 11: ユーザが定義したらソースインターフェイスのために、選択しますインターフェイス廃棄リストからインターフェイスを選択されました。

ステップ 12: ( オプションの ) 着信 フレームからの voice VLAN 情報がローカルデバイスによってアドバタイズされる情報を一致する場合 Syslog メッセージを送信 します Syslog Voice VLAN ミスマッチ フィールドのイネーブルをチェックして下さい。

ステップ 13: ( オプションの ) 着信 フレームからのネイティブ VLAN 情報がローカルデバイスによってアドバタイズされる情報を一致する場合 Syslog メッセージを送信 します Syslog ネイティブ VLAN ミスマッチ フィールドのイネーブルをチェックして下さい。

ステップ 14: ( オプションの ) 着信 フレームからのデュプレックス情報がローカルデバイスによってアドバタイズされる情報を一致する場合 Syslog メッセージを送信 します Syslog デュプレックス Vlan 不整合 フィールドのイネーブルをチェックして下さい。

ステップ 15: 行う変更を保存するか、または変更を取消するために『Cancel』 をクリック

するために『Apply』をクリックして下さい。

## CDP は設定をインターフェイスさせます

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインおよび Administration > ディスカバリへのナビゲート- CDP > インターフェイス設定。すべてのポートおよび設定の表は表示する:

呼び出します。ポートの設定を編集し、Radio ボタンを表のポート番号の隣でクリックし、表の下部ので『Edit』をクリックするため。ポップアップ ウィンドウは現われます:

ステップ 3.変更を保存するために『Apply』をクリックして下さい。

ステップ 4 1つのポートから他へ設定をコピーすることは設定がコピーされるポートに Radio ボタンを『Ports』を選択しましたり、選択します。それから設定を『Copy』をクリックして下さい。ポップアップ ウィンドウは現われます: